



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.8.5 No. 3638

ATS-SN型は安全ではない 来宮駅事故でJR東・本社団交(7/27)

動労総連合は、一九九二年六月二八日に伊東線・木宮駅構内で発生した回送電車と貨物列車の衝突・脱線事故について、JR東日本に対して「動労総連合申第一四号」を發出、七月二七日に団体交渉を開催した。

事故の発生

動労総連合は、最近の事故多発状況について、極めて危機的事態であり、JR東日本の九二・三ダイ改における動力車乗務員勤務制度改悪や二セ時短強行が、列車の安全を大きく脅かしているとの認識から、この間、職場における議論を積み重ね、アンケート調査を実施し、動乗勤プロジェクトチームによる検討を行ってきた。

本件事故についても、七月二二日に開催された動乗勤プロジェクト検討会での議論により、今後も同様事故の発生が多分にありうるとの危惧から、すべての責任を労働者に転嫁させないために、ATS-SN型の安全性について解明しておく必要があると判断したものである。

8.9
狭山差別裁判糾弾!
千葉刑争闘争
ときさる月(日)は時が
ところ千葉市中央公園、デモ有

責任追及
の時だけ
人間が大事

「経営トップが『一番安全なのは無人化することだ』とマスコミや社内報で広言し、いざ事故が発生すると『人間が一番大事だ』と責任をかぶせられるのでは労働者はたまったものではない」という立場からの追及に対し、会社側は

「ATS-S型をSN型に改良したことによって多くの事故を防いできたが、制限速度内で走行しているSNが正常に作動してもなおかつ今回のような事故が起こっ

た」として、「万全でないことが明らかになった以上、現在実施中の実態調査を待って、同様事故が起こらないような対策を講じたい」との考え方を明らかにした。

職場から闘いを創り出そう!

結論的に、会社が実施中の実態調査が七月中に終わる予定であるところから、その結果を待ってさらに協議することを双方で確認して団交を終わった。

われわれは、今後、全ての事故責任を労働者に転嫁することを許さず、設備改善を求めると同時に、くだらない労務政策・組合差別と極限的労働強化により事故の温床となっている「暗い職場」を解消する闘いを職場・生産点から創りだしていかなければならない。